

1 単元名 『一〇〇年後の水を守る』『水田のしくみを探る』

2 単元の目標

- ・豊かに思える水も、様々な視点から見ると実は不足しているのだということが理解できる。  
(知識・技能)
- ・本文の内容とともに図表の読み取りをし、身近なことに置き換えて水不足であることについて自分の考えを持ち、文章にして表現できる。  
(思考・判断・表現)
- ・本文の内容について疑問を持ちながら読み、考えたことを他の生徒と互いに積極的に共有することができる。  
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

『一〇〇年後の水を守る』

地球は水が豊富にあると私たちは思っているが、実は人間が使うことができる水は極わずかであるということ、図表を用いながらわかりやすく説明している。また、その使うことができる水が人間の活動により年々減少しつつあることも示す。特に水が豊富にある日本に住んでいる我々にとっては驚くべき事実であり、自分たちの行動変容を必要とすることに気づかせるものである。

『水田のしくみを探る』

水田は稲作をするだけでなく、保水や気温の低下などの効果もあることを、図表を用いながらわかりやすく説明している。身近にある水田のしくみを知り、その重要性を気づかせるものである。

(2) 生徒観

生徒は1年生で『クジラの飲み水』という説明文を学習し、飲み水は真水でなければならないことや、人間は自身で真水を作れないということを確認している。また2年生の1学期には『人間は他の星に住むことができるのか』という説明文で、人間を含む生物は水がなければ生存できないということを学んでいる。これらを踏まえて、今回学習する二つの説明文から、生徒たちの身近にある水について考える機会とし、目の前に広がる琵琶湖をはじめとした身近な水を大切に思うことができるように考える。また1年生から続けているスクラップノートの中の記事にも関連付けて考え、SDGsとも関連付けて考えられる生徒も出てくるはずである。

(3) 指導観

本単元では『一〇〇年後の水を守る』から学習し、広く水について考えさせたい。水が豊かな日本、滋賀県に住んでいることであまり気づいていない「水不足」についての理解をさせ、自身のこれまでの生活様式や行動について振り返り、水を大切に使うための行動変容を促したい。

次に学習する『水田のしくみを探る』では、現在と50年程度前の学校付近の地図を資料として用意し、水についての問題をより身近なこととして実感させたい。

二つの説明文を通して水についての問題に対して自分がどのように対処するのかを他の生徒に示すことができるようにさせたい。また、他の生徒の考えを聞き、さらに自分の考えを膨らませるようにし、それを文章にして表現できるようにさせたい。その際には読む人にわかりやすく、説得力のある文章となるように、これまで学習してきた説明文も参考に工夫して書けるようにさせたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性 → 水不足の原因は1つではなく、様々な要因が互いに関係し合っていることを考えなければならない。

連携性 → 自分や家族などの小さな単位だけでなく、地域や国などの大きな単位であっても、ともに問題解決に向き合わなければならない。

責任性 → これまで豊かであった水を、未来の人々も豊かに使えるように、水を大切に使うことを考え、行動しなければならない。

##### ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

未来を予測して計画を立てる力

→ 今の水の使い方が未来の水の豊かさにつながるのかどうかを考え、また、今後どのように使うのが良いのかを考える。

進んで参加する態度

→ 他人任せにするのではなく、自分ごととしてとらえ、日々の行動を水の豊かさを守るものにしていく。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

自然環境、生態系の保全を重視する。

→ 水の使い方により、水の豊かさが守られることを常に意識し、行動に移す。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

→ 「今」水が豊かに使えていても「未来」までそれが続くとは限らない。「未来」の人々の水の豊かさを「今」を守る必要がある。

##### ・達成が期待される SDG s

6 安全な水とトイレを世界中に

14 海の豊かさを守ろう

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

#### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む姿勢
①本文と図表を照らし合わせ、内容をより具体的に理解している。 ②2つの地図を比較し、その違いを見つけている。 ③本文に用いられている語句の意味を理解して使っている。	①作者や他の生徒の意見をもとに自分の考えを持っている。 ②本文の内容を、身近なこととして捉え、今後の自分がとるべき行動について考えている。 ③自分の考えを整理し、文章で表現している。	①本文から読み取ったことを他の生徒と共有し、作者の考えを理解する。 ②他の生徒に自分の意見を積極的に伝えている。 ③他の生徒の意見を積極的に聞いている。

#### 5 単元の指導計画 (全6時間)

次	学習活動・内容	学習への支援	評価・備考
1	①『一〇〇年後の水を守る』を音読する。 ②新出語句の意味調べをし新出漢字も使って「うそ日記」を書く。	・音読をしながら図表と照らし合わせて内容を読み取らせる。 ・新出語句の意味を正しく理解し、使えているかを班の中で共有させる。	ア①③ ウ① ワークシート

2	<p>③『一〇〇年後の水』と読んで、「ハテナ？なんでやねん？」と思ったことを班で挙げる。</p> <p>④挙げた「ハテナ？なんでやねん？」について班で検討する。</p> <p>⑤他の班と共有をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を批判的に読む姿勢で本文の内容について考えさせる。</li> <li>・「ハテナ？なんでやねん？」について解決するのに本文へ戻ることや図表からもヒントを得ることを示す。</li> <li>・代表者一人が残り他の班のメンバーにどのようなことを話したのかを説明する。他の班へ聞きに行っていたメンバーは残っていた一人に聞いたことを説明する。</li> </ul>	<p>イ①</p> <p>ウ①②</p>
3	<p>⑥『水田のしくみを探る』と読んで、「ハテナ？なんでやねん？」と思ったことを班で挙げる。</p> <p>⑦挙げた「ハテナ？なんでやねん？」について班で検討する。</p> <p>⑧他の班と共有をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を批判的に読む姿勢で本文の内容について考えさせる。</li> <li>・「ハテナ？なんでやねん？」について解決するのに本文へ戻ることや図表からもヒントを得ることを示す。</li> <li>・代表者一人が残り他の班のメンバーにどのようなことを話したのかを説明する。他の班へ聞きに行っていたメンバーは残っていた一人に聞いたことを説明する。</li> </ul>	<p>イ①</p> <p>ウ①②</p>
4	<p>⑨JR比叡山坂本駅付近の地図（現在のものと50年前のもの）を見て気づいたことを班で共有する。</p> <p>⑩他の生徒と共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所の変化に気づかせる。</li> <li>・3人以上に気づいたことを聞き、自分の気づいたことを照らし合わせる。</li> </ul>	<p>ア②</p> <p>イ②</p> <p>ウ②③</p>
5	<p>⑪1次～4次までで学んだこと、気づいたことをもとに「水」に対する自分の考えを持つ。</p> <p>⑫「水」に対する自分の考えを文章にして表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の生徒の意見も参考にすること、調べたことをもとに自分の考えを明確にさせる。</li> <li>・今後自分がどのように「水」と関わり、守り、次の世代に受け継ぐのかを考えさせる。</li> </ul>	<p>イ②</p> <p>ウ②③</p> <p>イ③</p>
事後	<p>⑬滋賀県「水の作文コンクール」に応募する。</p>		

